

と呼ぶと、

「なんだい、じいさん。」

という二度びつくり、ばあさんもとても驚くばかり、

「じいさんどうしたの。」

と話の次第を物語るのであった。

ただ、残念なことにはあさんに、雲海に浮かぶ我が里の奇麗な風景を見せられなかったのが惜しいと思った。おじいさんは、世の中で一番よいところは、住み慣れた我が里であるところと解った。

これは、天津神国津神八百万神のお諭し下さったたまものと思つて、「里の」益々繁昌するよう力を合わせて働くことにしよう。

さああと夢醒めた。